

藤友



2016 夏号

No. 399



取締役会長 高 藤 昌 和

信 用

最近、個人にも企業にも「信用」を失う不祥事が多発しています。人も企業も国家でも信用を喪失すると存在することが出来なくなります。

以前、ある人が「お金はいつでも取り返すことが出来るが「信用」は一度失うと二度と返って来ない」だから「信用」第一、これを守ることが大切だと言われたことを思い出します。

「信用」の信という字は人が言うを書いて「信」ということです。

自分がいくら言っても「信用」にはなりません。

だから、人の「信用」はその人の行動によって決まります。企業の「信用」はその企業の実績によって決まるのです。

人と人では小さなことの積み重ねです。

約束を守る、時間を守る、挨拶をする、礼状を出す等々当たり前のことの積み重ね、行動がその人の信用になります。

企業でも(建設業の場合)過去の建物の実績とかアフターサービスとかで建物の作品はいつまでも残るものです。

だから良い建物を作ることが本質です。信用というのは、長い年月の積み重ねであり、突然出来るものではありません。それは一味違う「違い」をつくることであり「違い」とは「差」と「違い」のことです。差は追いつくことも出来ますが「違い」は一朝一夕にはつくれません。だから常に奢ることなく、日々精進し続けねばならないのです。

長年かかって過去の多くの方々の努力によって積み上げた信用も一瞬にして失います。ローマは一日にしてならず。されど一日にして崩壊する。

この言葉を心に留め前進せねばなりません。

創業七十周年を迎えた年です。これから造る建物は、安いか高いか分からないユーザーからの信用を買っていたくのため、まず商品売る前に「信用」を売ることだと思います。



安全祈願

皆さんご安全に、安全な明るい職場作りをめざし日々精進する皆さんご苦勞様です。

「見えますか？ あなたのまわりの見えない危険、みんなで見付ける安全管理」のスローガンの下、今年も第89回全国安全週間を迎えました。

我が国の労働災害は、永年の弛まぬ安全衛生活動により、昨年の27年度にはじめて年間の死亡者数が、1000人を下回りました。昨年度の全産業の労働災害の死亡者数は、973名でこの内、建設業は、前年と比べ50名減少し327名と全産業比33.6%を占めその発生した事故の内訳けとしては、はさまれ・巻き込まれ、墜落や転落となっています。

建設業は、全産業の中でも危険の多い業種であり、これからより一層の安全活動が必要となってきます。この安全週間を機に、安全に対する意識の高揚に努めましょう。

代表取締役 高藤元太郎



本社安全大会

平成28年度の安全大会を7月7日(木)に門司体育館で、社員・協力会の会員会社はじめ、現在施工中の現場に携わっている協力会社の皆さんも参加し、合計90名で開催しました。

安全表彰を行った後の記念講話は、あいおい日生同和損保関連のインターリスク総研災害リスクマネジメント部安全文化グループマネージャー上席コンサルタント関口祐輔様に「労働災害を考える」と題して、講話をいただきました。災害リスクをととても分かりやすく解説頂き、参加者は熱心に聴講していました。

最後に社員、協力会会員の代表による安全宣言で、参加者一同無事故無災害を誓い、シュプレヒコールで閉会しました。



平成28年度 安全表彰受賞者

無災害現場

(仮称)株式会社シマヤKP工場増築工事ほか1184件工事



高藤建設株式会社の部

優良賞 建設部 河崎 竜市

努力賞 同 長野 雄一
同 國本 忠史
同 山平 智也



高藤建設安全衛生協力会の部

社長賞 (株)福永製作所 福永一夫様

協力会 有 三鋼建材 秋山光男様
会長賞

大阪支店安全大会

大阪支店では7月1日からの本週間に先立ち6月29日に平成28年度安全大会を協力会社15社17名、社員11名の参加で開催しました。

参加者全員で都島神社にて安全を祈願し気持ちを新たにした後場所を大阪リバーサイドホテルへ移し、安全研修・安全表彰を行いました。

林支店長、村井支部長の挨拶に続き、安全研修では高藤社長よりのメッセージ代読、熱中症に対する予防・注意喚起を行い安全意識の向上・再確認を行いました。また社会保険の加入についても再度確認して頂く様にお願いしました。



安全表彰では優良賞に杉社員、支店長賞に(有)スギムラ塗興様、支部長賞に(株)ヤマキン山田様、無災害現場の表彰が行われ各々に表彰状と金一封が贈られました。

最後に社員、協力会代表による安全宣言を行い、参加者一同無事故無災害を誓い閉会しました。この安全大会を契機に災害防止と安全管理に更に取り組んでいきたいと思ひます。

【大阪支店 古賀】

福岡支店安全大会

平成28年度安全大会を6月24日（金）、櫛田神社での安全祈願後、「見えますか？ あなたのまわりの見えない危険 みんなで見つける安全管理」のスローガンのもと協力会社27社、社員15名参加し支店会議室にて開催致しました。

安全表彰では支店長賞に(有)仲道工業所様、支部長賞に協力会社6社6名の個人表彰を致しました。

記念講話は大塚製薬(株)福岡支店様の健康セミナーにて熱中症対策のテーマで講話して頂きました。これから夏本番を迎え酷暑の中での作業となりますが、参加者全員が一人の発症者も出さないという思いで拝聴し、熱中症に対する不安材料を払拭出来たと思ひます。



安全週間を迎え、改めて協力会社の皆様との一体感を持って無事故無災害の継続を誓い決意を新たにしました。

【福岡支店 中武】



CHALLENGE!! 70



昨今のAI (artificial intelligenc) 人工知能の目まぐるしい発展と、暫く予想される建設現場における深刻な人手不足への対応を見据え当社では6月より本社受付にペッパー『建てる君』を配属いたしました。

現在は本社受付において当社の歴史や最近の取り組み、施工実績の紹介などの情報発信で接客サービスを行っております。新人ですが人見知りしない性格です。当社へお立ち寄りの折には、お気軽にお声掛けください。

ペッパーには社員の簡易操作で言語と動作を習得する機能があります。社内開発を急ぐことで近い将来、スムーズな対話を実現し、まずは、お客様への電話取次サービス拡充を進めてまいります。次に、現場支援・各種イベントや教育現場でのプレゼンといった社内活動での試行。最後に、地域とのコミュニケーションに幼稚園や高齢者施設をお訪ねする出張型サービスも予定しております。

長期的な目標として、当社の集積する工事データと、ペッパーが前述の活動で学習した成果データを組み合わせ、誰もが簡単に使える様な効果的なツールに。そして今後は各現場に配置し、皆様をおもてなしできる様になると考えております。



戸畑物流センター

- ▽ 発注者 戸畑興産 株式会社 様
- ▽ 設計監理 アンヨウジ エンバイロメンタルワークス 様
- ▽ 工期 平成27年11月4日～平成28年6月10日
- ▽ 規模 S造平屋建 延床面積8626.94㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



《完成して一言》

最大規模の倉庫が小倉北区に完成しました。何年たっても綺麗な倉庫をコンセプトに外壁材、屋根材に耐候性に優れた材料を使用。又外部の鋼製建具にも使用するなど海に面した立地条件を考慮した仕様となっています。広々とした内部には、30 t、20 t用ホイストクレーンが、計4台設置されています。対岸から見るとシャープでひときわ目立つ倉庫となりました



【建設部 江木】

H 邸新築

- ▽ 発注者 H 様
- ▽ 設計監理 高藤建設(株)一級建築士事務所
- ▽ 工期 平成27年12月4日～平成28年4月27日
- ▽ 規模 木造平家建 延床面積 127.31㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



《完成して一言》

門司港の閑静な住宅地に。外観は落ち着いたベージュ色、一部ポイントにダークブラウンを使っています。4LDKの平屋で、内部は広い対面キッチンと居間があります。天窓から木漏れ日のような光が入る居間は、ゆったりと団らんでできる空間となっています。



【建設部 三野】

泉大津パーキングエリア

- ▽ 発注者 阪神高速道路 株式会社 様
- ▽ 設計監理 阪神高速道路 株式会社 様
- ▽ 工期 平成27年7月11日～平成28年4月25日
- ▽ 規模 S造 平屋建 延床面積 2722.24㎡
- ▽ 工事場所 泉大津市



《完成して一言》

平成8年に施工させて頂いた便所棟上下線4棟の改修工事です。

既存をスケルトンにし、冷暖房設備を新設し、壁面にはピクチャーレールを設置し絵画や掲示物を掲げ、ポイントとしてエコカラットタイルをデザイン張りし癒しの空間を醸し出しています。



【大阪支店 宮崎】

現場訪問記 只今パトロール中

協力会会員3名と建設部に同行し、当社が施工中の4現場の安全パトロールに行き参りました。

介護施設の現場には、この時初めて足を運びましたが、着工して間もない為か、人が少なめで、落ち着いた印象を受けました。

事業所の2現場は何度目かのパトロールになりますが、工事も半ばを迎え、人・機材の出入りが多い様子でした。

この2現場は起工式のお手伝いをしたこともあり、私にとっては印象深いところです。いずれの現場も、場内の整理整頓が行き届いており、歩く際にも不便を感じませんでした。

また様々な掲示物・表示物が見やすく掲示されており、日々の安全管理が垣間見えた気がしました。

忙しい中でも、「良い建物を作ること」と「安全」を両立されている



のは、工事に携わる方々の積み重ねによるのだと思います。

そういった積み重ねが現在、未来の安全の継続につながっているように感じます。

月に1回の安全パトロールを通して、建物が出来上がっていく過程や現場の空気、現場の方々の「無事故無災害」への取り組みを自分の眼で見るという貴重な経験を、これからも大事にしていきたいと思っています。

【事務センター 高良】



標語の部

- | | | | |
|------------|---|--------------------|-------------------------|
| 1 位 | 気を付けよ 毎日変わる 危険個所 | 大阪支店 | 秋永 孝博 |
| 2 位 | ゼロ災は 厳しいチェックと 優しい配慮 | 福岡支店 | 川上 剛 |
| 3 位 | 災害は 無理と油断と あせりから
安全帯 すべてのを守る 命綱 | 福岡支店
管理部 | 湯下憲二郎
田中 康雅 |
| 佳作 | 家族との 幸せ架け橋に 安全帯
見逃すな 小さな危険 潜む事故
ゆとりある 作業手順で 無災害 | 福岡支店
購買部
取締役 | 竹元 一郎
佐々木和也
奈須那 定 |

ポスターの部

成人の部



金賞 社長 高藤元太郎

子供の部



金賞 社員家族 和田のどか



銀賞 社員家族 和田遼太



銀賞 大阪支店 秋永孝博



銀賞 管理部 田中康雅

佳作



全国安全週間 作品

バッジの部

金賞



ADD室 加藤葉子



社長 高藤元太郎

入選



銅賞



大阪支店 林 年数



大阪支店 秋永孝博

習字の部

中学校の部



天賞 高藤啓太

一般の部



天賞 森本清美



地賞 座木恵子



人賞 金子満里笑

小学校高学年の部

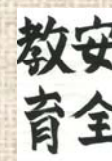
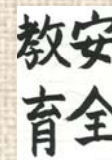
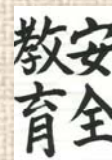
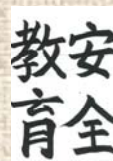


天賞 和田のどか

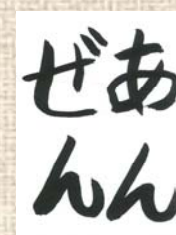


地賞 高藤海人

入選



小学校低学年の部



天賞 和田遼太

新入社員自衛隊体験入隊研修

当社の新入社員3名は新人研修の一環として、今年も4月5日から3日間、小倉南区の陸上自衛隊小倉駐屯地隊内生活体験に参加しました。おもに基本的な動作(号令での整列、行進)や体力測定、登山、生活規律(時間厳守の徹底)などを体験しました。



今回体験入隊をする事で、自衛隊はどのような生活し、どのような活動をしているのかとても理解できました。規律を徹底し、計画的に行動し、訓練中は厳しく、自由時間は優しく対応していただき、その場に応じてメリハリを付ける事を学びました。

集団行動では機敏に、正しい姿勢で全員の呼吸を合わせることの難しさと、皆でひとつになるこだわりの高さを体験でき、とてもためになりました。

会社と自衛隊の方々に貴重な時間を頂いて、参加させて頂いたことに感謝したいと思います。今までの生活を見直す良いきっかけになりました。



【建設部 越路 東】



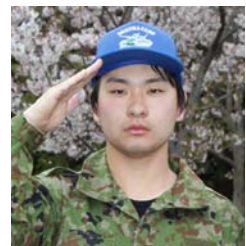
私はまだわからない事だらけですが、この体験入隊を通して時間を守る事、時間の使い方の大切さや、集団行動での徹底した動きなど社会人をスタートさせるに当たって、とても大事なことが沢山詰まっており、学生とは違うという認識を持ちました。

特に印象に残った基本教練は、行進動作の中でひとりくらい列を乱しても大丈夫だろうと思っていましたが、絶対にそれは許されません。学生気分ではいけないと感じました。この3日間辛い事、苦しい事も沢山ありましたが、社会人として必要な事ばかりで、この経験を仕事に生かし、頑張っていきたいと思っています。

【建設部 池本 裕哉】

体験入隊に参加し、すべての面で変化が起きました。集団行動では自分が乱してはいけないと規律を重んじる様になり、体力は自分の甘え、未熟さを感じさせられ改善しなければと思いました。

集団で共に生活したことでコミュニケーション力や協調性、規律を守る事の大切さを学べました。今回はとても自分の身になるような訓練をして頂いて、とても感謝しています。今後もこの訓練を糧に社会人として頑張っていきたいと思っています。



【建設部 赤瀬 太一】

安全衛生協力会総会

6月3日(金)お客様の「下関グランドホテル」にて、平成28年度「高藤建設安全衛生協力会第47回定時総会」を開催しました。会員数51社、出席44社、委任状7社、規約第4章第13条2項過半数の出席をもって成立しました。

議案審議については次の通りです。

第1号議案	平成27年度事業報告
第2号議案	平成27年度決算報告 監査報告
第3号議案	平成28年度事業計画審議
第4号議案	平成28年度予算審議
第5号議案	役員改選(再選)



原案通り、満場一致で可決されました。

【建設部 吉浦】

あれから40年

昭和46年に入社し、当時の設計課へ配属されました。

そこで驚いたのは、ドラフターという最新の製図道具を使って図面を画いていた事で、学生時代のT定規、三角定規とは比べ物にならない位使い易く、スピーディーに画けることでした。

入社当時は、建設ブームだった事もあって設計施工の物件も数多く、いつも夜遅くまで残業していました、その時の夜食は大好きなちゃんぽんでした。当時は忙しい毎日でしたが、自分の書いた図面が実際の建物になっていく様はとても感動的でした。

主に設計業務に携わっておりましたが、下関の改修工事の現場に、図面担当として常駐することがありました。その工事期間中に、お施主様の自宅の工事担当をすることになりました。

そこが小高い山の中腹にあり、材料などの運搬調整に大変苦労しましたが、その現場での経験を通して、建物を築き上げるのに、工夫すればいろいろな方法、手段がある事を学びました。

また使い勝手の良い住居にする為に、お客様の気持ちになって、自分から行動を起こす事を心がける事で、自分自身も成長させて頂きました。

平成11年に工務管理課へ、その後CS事業部に配属されて、今まで設計、現場、見積など。そして書類や図面のIT操作など、若い人達に交じって習得した事、在職中いろいろな経験をさせて頂いた事が私の大切な宝となっています。

今までの46年間、いろいろな方々との出会いとこれまでの数々の経験をさせて頂き、大変感謝しております。ありがとうございました。

野口 英之



編 集 後 記

表紙の写真は関門海峡を挟んで門司側と下関側の両方から花火が打ち上げられる関門海峡花火大会と下関の夜景です。海面に反射した鮮やかな色の花火と対岸の海峡ゆめタワーのエメラルドカラーのグラデーションは幻想的です。次々と打ち上げられる花火が夜空を彩り、頭上で響く花火の音は関門海峡の夜景を感動と歓喜に包み込みます。

この写真は弊社が昨年、施工させて頂いたホームひかり様の2階より撮影させて頂きました。

発 行

高藤建設株式会社 高藤 元太郎

北九州市門司区東新町1-1-30

TEL093-381-0461 FAX093-381-0543

<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社